

2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社ウィルグループ 上場取引所 東
 コード番号 6089 URL <https://willgroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 高山 智史 (TEL) 03-6859-8880
 四半期報告書提出予定日 2023年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	69,276	△4.3	2,019	△31.2	2,086	△29.2	1,485	△25.3	1,402	△19.6	2,222	△19.6
2023年3月期第2四半期	72,358	13.2	2,934	9.3	2,947	8.5	1,989	△0.4	1,743	2.7	2,766	63.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	61.84	61.44
2023年3月期第2四半期	77.23	76.53

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	52,272	16,984	15,843	30.3
2023年3月期	54,939	15,877	14,638	26.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	44.00	44.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	44.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	0.0	4,200	△21.0	4,100	△20.3	2,900	△16.2	2,800	△13.5	123.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	22,944,100株	2023年3月期	22,944,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	218,675株	2023年3月期	284,850株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	22,683,427株	2023年3月期2Q	22,580,342株

（注）期末自己株式には、役員向け株式交付信託の所有する当社株式が含まれています。
（2024年3月期2Q213,266株、2023年3月期279,441株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、世界的なインフレの長期化による金融引締め政策の継続、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、中国経済の景気減速等、依然として先行き不透明な状況が続いています。日本経済は、インバウンド需要の回復、雇用・所得環境の改善等もあり、緩やかに景気持ち直しの動きが見られました。しかしながら、海外景気の下振れリスク、エネルギー・原材料価格の上昇や、為替相場変動、国内金融政策等の動向に引き続き注視する必要があります。

このような状況の下、当社グループは、2026年3月期を最終年度とした中期経営計画「WILL-being 2026」の基本方針である国内Working事業の再成長に向け、建設技術者領域の拡大、正社員派遣・外国人管理受託の拡大等に取り組みました。

国内においては、セールスアウトソーシング領域、コールセンターアウトソーシング領域において新規案件開拓が伸び悩んだものの、その他の領域においては堅調に推移しました。また、国内における採用力強化を目的に、「WILLOF（ウィルオブ）」のブランドプロモーションとして、2023年7月より西日本エリアを中心に初のTVCMを実施しました。プロモーション実施後の指名検索数は増加傾向にあり、今後のオウンドメディア経由の採用数増加が期待されることから、第3四半期以降も継続して実施していきます。

海外においては、前年度におけるポストコロナの急激な人材紹介需要が一巡し、人材紹介売上は減少したものの、安定した領域で展開している人材派遣は堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益69,276百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益2,019百万円（同31.2%減）、税引前四半期利益2,086百万円（同29.2%減）、四半期利益1,485百万円（同25.3%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,402百万円（同19.6%減）、及びEBITDA（営業利益+減価償却費及び償却費）は3,066百万円（同22.7%減）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りです。

①国内Working事業

国内におけるセールスアウトソーシング領域、コールセンターアウトソーシング領域、ファクトリーアウトソーシング領域、介護領域、建設技術者領域等カテゴリーに特化した派遣、紹介及び業務請負を行う国内Working事業については、セールスアウトソーシング領域、コールセンターアウトソーシング領域において新規案件開拓が伸び悩んだものの、その他の領域においては堅調に推移しました。中期経営計画において重点戦略としている外国人管理受託、正社員派遣人数については、計画より遅れているものの、建設技術者領域においては、当第2四半期連結累計期間において新卒含め過去最高の800名以上の社員が入社したことで稼働人数が増加しました。また、顧客とのチャージアップの交渉も順調に進捗し、収益性も改善しました。

利益面においては、建設技術者領域、セールスアウトソーシング領域、ファクトリーアウトソーシング領域における採用費、外国人管理受託における営業人員の増員、ブランドプロモーション等の先行投資を実施したことで販管費が増加しました。なお、当第1四半期連結累計期間に株式会社ボーダーリンクの株式譲渡により株式売却益として786百万円を計上し、同社を連結範囲から除外しています。

以上の結果、国内Working事業は、外部収益40,701百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益2,146百万円（同5.8%減）となりました。

②海外Working事業

主にシンガポール、オーストラリアで展開している人材サービスについては、シンガポール、オーストラリアとも求人件数は足元では減少しているものの、新型コロナウイルス感染症拡大前と比較すると依然として高い水準で推移しています。人材派遣については、行政案件など安定した領域で展開していることから堅調に推移しました。人材紹介については、前年度におけるポストコロナの急激な人材紹介需要が一巡したことから前年同期と比較して減少しました。

利益面においては、人材紹介売上の減少による売上総利益の縮小、人件費等の増加により減益となりました。

以上の結果、海外Working事業は、外部収益28,440百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益1,123百万円（同41.3%減）となりました。

③その他

その他については、前連結会計年度末にハイブリッド株式会社の株式譲渡を行い、同社を連結範囲から除外したことにより減収となりました。

利益面においては、新たなプラットフォーム開発への投資を継続したことから、販管費が増加しました。

以上の結果、その他は、外部収益134百万円（前年同期比87.7%減）、セグメント損失138百万円（前年同期は156百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25,767百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,899百万円減少しました。これは主に、その他の流動資産が448百万円増加した一方、現金及び現金同等物が2,587百万円、営業債権及びその他の債権が843百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

非流動資産は26,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ232百万円増加しました。これは主に、その他の金融資産が187百万円、使用権資産が113百万円それぞれ減少した一方、円安による為替換算の影響を受けたことによりのお金が455百万円、その他の無形資産が155百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、総資産は52,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,667百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は25,320百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,093百万円減少しました。これは主に、その他の金融負債が777百万円増加した一方、借入金が3,376百万円、その他の流動負債が716百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

非流動負債は9,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ680百万円減少しました。これは主に、借入金が547百万円、繰延税金負債が179百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

以上の結果、負債合計は35,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,773百万円減少しました。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は16,984百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,106百万円増加しました。これは主に、非支配持分が97百万円減少した一方、その他の資本の構成要素のうち、在外営業活動体の換算差額が860百万円増加したこと等によるものです。

以上の結果、親会社所有者帰属持分比率は30.3%（前連結会計年度末26.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末に比べ2,587百万円減少し、7,003百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2,875百万円の収入（前年同四半期は2,657百万円の収入）となりました。これは主に、営業活動その他による支出856百万円、法人所得税の支払額850百万円等があった一方、税引前四半期利益の計上2,086百万円、減価償却費及び償却費の計上1,046百万円、営業債務の増加額754百万円、営業債権の減少額579百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは346百万円の支出（前年同四半期は218百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形資産の取得による支出209百万円、投資活動その他による支出137百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは5,457百万円の支出（前年同四半期は4,701百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純減額2,647百万円、長期借入金の返済による支出1,276百万円、配当金の支払額1,008百万円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	9,590	7,003
営業債権及びその他の債権	17,928	17,084
その他の金融資産	138	222
その他の流動資産	1,009	1,457
流動資産合計	28,666	25,767
非流動資産		
有形固定資産	1,139	1,098
使用権資産	6,349	6,236
のれん	8,120	8,576
その他の無形資産	5,996	6,152
持分法で会計処理されている投資	456	439
その他の金融資産	1,475	1,287
繰延税金資産	1,953	1,953
その他の非流動資産	782	761
非流動資産合計	26,272	26,505
資産合計	54,939	52,272

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16,151	16,795
借入金	6,761	3,384
その他の金融負債	1,364	2,141
未払法人所得税	1,027	606
その他の流動負債	3,109	2,392
流動負債合計	28,414	25,320
非流動負債		
借入金	3,385	2,837
その他の金融負債	5,950	5,990
繰延税金負債	1,127	947
その他の非流動負債	184	191
非流動負債合計	10,648	9,968
負債合計	39,062	35,288
資本		
資本金	2,187	2,187
資本剰余金	△1,923	△1,920
自己株式	△274	△210
その他の資本の構成要素	890	1,634
利益剰余金	13,758	14,152
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,638	15,843
非支配持分	1,238	1,141
資本合計	15,877	16,984
負債及び資本合計	54,939	52,272

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	72,358	69,276
売上原価	56,143	53,867
売上総利益	16,215	15,408
販売費及び一般管理費	13,428	14,277
その他収益	161	891
その他費用	15	3
営業利益	2,934	2,019
持分法による投資損益(△は損失)	△11	△17
金融収益	69	173
金融費用	45	89
税引前四半期利益	2,947	2,086
法人所得税費用	958	601
四半期利益	1,989	1,485
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,743	1,402
非支配持分	245	82
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	77.23	61.84
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	76.53	61.44

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	1,989	1,485
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	△42	△21
純損益に振り替えられることのない項目合計	△42	△21
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	40	△101
在外営業活動体の換算差額	778	860
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	819	759
税引後その他の包括利益	777	737
四半期包括利益	2,766	2,222
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,523	2,147
非支配持分	243	75

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素合計	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	2,163	△2,266	△274	464	11,310	11,398	1,723	13,121
四半期利益	-	-	-	-	1,743	1,743	245	1,989
その他の包括利益	-	-	-	779	-	779	△1	777
四半期包括利益合計	-	-	-	779	1,743	2,523	243	2,766
剰余金の配当	-	-	-	-	△776	△776	-	△776
自己株式の取得	-	-	△0	-	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	-	-	-	-	-	-	-
株式報酬取引	10	65	-	-	-	76	-	76
企業結合による変動	-	210	-	-	-	210	△728	△517
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	0	0
所有者との取引額合計	10	276	△0	-	△776	△489	△728	△1,217
2022年9月30日時点の残高	2,174	△1,990	△274	1,244	12,277	13,431	1,238	14,669

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素合計	利益剰余金	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年4月1日残高	2,187	△1,923	△274	890	13,758	14,638	1,238	15,877
四半期利益	-	-	-	-	1,402	1,402	82	1,485
その他の包括利益	-	-	-	744	-	744	△7	737
四半期包括利益合計	-	-	-	744	1,402	2,147	75	2,222
剰余金の配当	-	-	-	-	△1,009	△1,009	-	△1,009
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-
自己株式の処分	-	△17	63	-	-	46	-	46
株式報酬取引	-	21	-	-	-	21	-	21
企業結合による変動	-	△1	-	-	-	△1	△173	△174
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替	-	-	-	△0	0	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
所有者との取引額合計	-	2	63	△0	△1,009	△942	△173	△1,116
2023年9月30日時点の残高	2,187	△1,920	△210	1,634	14,152	15,843	1,141	16,984

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,947	2,086
減価償却費及び償却費	1,031	1,046
株式報酬費用	53	63
営業債権の増減額 (△は増加)	△261	579
営業債務の増減額 (△は減少)	753	754
営業活動その他	△728	△856
小計	3,796	3,674
利息及び配当金の受取額	2	109
利息の支払額	△43	△57
法人所得税の支払額	△1,098	△850
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,657	2,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△187	△209
投資活動その他	△30	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218	△346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400	△2,647
長期借入れによる収入	2,520	—
長期借入金の返済による支出	△1,578	△1,276
リース負債の返済による支出	△637	△586
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	△3,746	—
非支配持分への配当金の支払額	△311	—
配当金の支払額	△775	△1,008
財務活動その他	228	60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,701	△5,457
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	391	340
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,871	△2,587
現金及び現金同等物の期首残高	8,973	9,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,102	7,003

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

①報告セグメントの概要

当社グループは、サービス別に、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎として報告セグメントを決定し、以下の2つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントの内容は以下の通りです。

報告セグメント	事業内容
国内Working事業	主に国内における販売、コールセンター、工場、介護施設、建設技術者等カテゴリに特化した派遣・紹介・業務請負、フォースタートアップス(株)が展開するスタートアップ企業向けの人材紹介を中心とした人材支援サービス等を行っています。
海外Working事業	主にシンガポール、オーストラリアを中心に、人材派遣・紹介を行っています。

上記に加え、ITエンジニア/クリエイター向け賃貸住宅(TECH RESIDENCE)事業等がその他に含まれています。

②報告セグメント情報

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値です。

報告セグメントごとの情報は以下の通りです。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	国内Working 事業	海外Working 事業	計			
売上収益						
外部収益	41,525	29,744	71,270	1,088	—	72,358
セグメント間収益(注1)	33	—	33	3	△37	—
計	41,559	29,744	71,304	1,091	△37	72,358
セグメント利益	2,277	1,914	4,191	△156	△1,101	2,934

(注1) セグメント間収益は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) セグメント利益の調整額△1,101百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,100百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額
	国内Working 事業	海外Working 事業	計			
売上収益						
外部収益	40,701	28,440	69,141	134	—	69,276
セグメント間収益(注1)	17	—	17	7	△25	—
計	40,718	28,440	69,159	142	△25	69,276
セグメント利益	2,146	1,123	3,269	△138	△1,111	2,019

(注1) セグメント間収益は、通常の市場価格に基づいています。

(注2) セグメント利益の調整額△1,111百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,111百万円が含まれています。全社費用は、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費です。